

# 令和5年度施政方針に対する各会派の質疑・見解

## 自由民主党・信頼の小金井

白井市長の初めての施政方針について、提案に際しての自身の思いや根幹となる考え方、第5次基本構想と異なる部分の有無や実行する際、庁内にどう落とし込んでいくかを質問した。さらに選挙公約との関係や、施政方針にあって使い分けしている4つの重視するキーワードと4つの重要課題との違いなどを質問した。

**市長** 基本的に第5次基本構想・前期基本計画に沿って令和5年度に力を入れる部分をピックアップしている。この策定過程では庁内で苦労して作り上げ、自分も議会で議論に参加しており、基本構想は大枠として継承、特段異論はない。市政への思いの根幹は「市政の主役は市民であり、市民と行政がお互いの役割に基づき協力して、みんなでこのまちを良くしていこう」ということ。庁内の共有化については、行政を担う中心的な役割の職員に直接私の言葉で話をし、行政に反映をしていく。4つの重要課題は、選挙公約での緊急性・重要性の高いものを出し、選挙の時に政策の体系として出した項目から4つの重視するキーワードを出した。

### 具体的な項目について

**A.優先整備路線と都市計画について。**東京都管理の土地について小金井市が色々と言えぬのか、市が関与するみどりについて書くべき。また、「都市構造を支え、円滑に移動できる道路網の整備を進める」とあるが、都市とはどこを指すのか。

**市長** 市が管理するみどりも守っていく。都市とは小金井市全体を指している。

**I.商工振興という項目がないのは何故か。**市民の生活を守るために買い物難民をなくすという視点も持つべきではないか。

**市長** 大きな施策として重要視したいことの中にも含まれる。買い物支援は考えていきたい。

**ウ.武蔵小金井駅北口のまちづくりは北口の住民には待望の事業であり、市の税収増にもつながるので、積極的に取り組んでいただきたい。**

**市長** しっかりと責任を持って取り組んでいきたい。

## 子どもの権利を守る会

### 古畑俊男

白井市長は、はけと野川の自然を壊す都道事業化の中止を公約に当選された。しかし、対象地域は、南北交通の隘路となっている。また周辺の自然環境は、公園や河川、下水道といった都市計画のくくりで整備されてきた。はけと野川の自然とは、地域全体の生態系のことであり、守るべき自然とは何を指すのか、いま一度考えるべきである。

### 高木章成

市立保育園廃園問題について、公約どおり廃園方針・廃園条例の撤回が明言されず極めて残念。西岡前市政の予算編成を引き継ぐのではなく、白井新市長の政策意思を反映すべく骨格予算とすべき。(超短期間の市長選で示せなかったのなら)新たにマニフェストを作成してはどうか。

### 渡辺大三

庁舎等建設。白井市長は、前市長の「負の遺産」である現設計を基本にするとしている。現設計は、①十分な面積の「ひろば」がない、②庁舎部分にのみ免震構造を採用し、福祉会館部分には不採用、③コストダウンのための工夫が不十分、④議会が年40日程度しか使わない議場スペースの市民利用が困難、などの見過ごせない欠陥があり、見直しが必要だ。

### 片山かおる

廃園方針に基づく施政方針だが、廃園方針にある施策は進んでいない。市長になって議員として発言したときとは立場が違うのか。主張には整合性を持った方がいい。子どもの権利条例の推進計画や権利委員会がなく、子どもの権利に基づく市政ではないから廃園方針が実行されている。市民を傷つけまくる裁判で争い続けるのか。専決処分取消訴訟から手を引くべきだ。

## みらいのこがねい

**沖浦** 市長選挙で他候補と一番大きな差があった政策は何か。

**市長** 新庁舎・新福祉会館建設を早期に実現することが大きなポイントだったと認識している。

**沖浦** この問題を解決しろという市民の後押しを絶対忘れてはいけない。早く次のフェーズに移り、学校を始めとした公共施設の更新等により一層注力すべきである。

**村山** 新庁舎建設を一刻も早く実現すべきと市長が考える理由は。

**市長** 分散庁舎による無駄な時間と業務効率化、第二庁舎賃借料の解消、防災や保健福祉の総合支援拠点を早期に建設する必要がある。

**村山** その他にも建築資材高騰も大きな問題だが、市長の認識は。

**市長** 建設資材は右肩上がりの状況からも早く着工した方がよい。

**岸田** 早期建設理由は同じ。西岡前市長が示せなかった財政的課題をクリアする白井市長の基準は何か。

**市長** 具体的事業の洗い出しのところで細かい点は打合せできていない。

**岸田** 平成30年9月に清掃関連施設の敷地内移設を行わない等4点を求めた6会派12名(自民党4名、公明党4名、一人会派4名)に当時の白井議員も含まれる。その6会派12名の申入れを基に進めてきた庁舎建設が令和3年11月の再度の申入れにより着工目前で止まり、その1年間の建築資材高騰の影響は約7億円~14億円と判明した。当時の白井議員も賛同したその申入れは正しかったのか見解を問う。

**市長** 議員の立場で迷いながらも判断してきたとしか言えない。

**岸田** 資材高騰や跡地活用等、建設が遅れるデメリットを最小限に留め、現設計で早期に建設すべき。

## 小金井市議会公明党

■市長は、違いを力に変えるまちを目指すとし、多様性・ジェンダー平等を大切にするために、人権を最も大事にすると言われている。SDGsを念頭に「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を目指して欲しい。また、市長が言う重要課題に対し、声を出さない多数の中にこそ本質があると知り、市民の幸せを追求して欲しい。

■次にコンプライアンスについて指摘をする。繰り返される問題発生について具体的指示が期待される。最近のミスの中には条例や要綱が読み込めていないことで起こるミスや、コミュニケーション不足ということで大きな問題になってしまっているケースが見受けられる。新しい副市長とも協力して、様々な問題に終止符を打つための方針を早急に出していただきたい。

■最後に、行政診断の中で、市は財政規律ガイドライン策定や目標値を立てて財政計画に反映するという提案を受けている。よって今回、同ガイドラインを策定するとの方針は重要。今後、新庁舎を建設するに当たり財源を生み出す必要があり、量的改革への更なる斬り込みや武蔵小金井駅北口再開発による歳入増など、工夫していただきたい。

## 小金井をおもしろくする会

**水谷** ①部活動の地域移行 施設の整備と地域で支えてくださる方との意見交換を。②市の広報について 市報を読みやすくするにはどのように取り組むのか。

**市長** ①部活動の場、機会を保障していくために、教育委員会と連携して取り組みたい。②市報については、他市事例等を調査中。広報以外の職員も入り、検討する場や市民意見を聴く機会も必要。

## 日本共産党小金井市議団

たゆ、水上、森戸の各市議は、新型コロナウイルス感染症対策や平和事業、都市計画道路問題などの他に次の項目について市長に質問した。

### 1 市民生活を更に支援することを求める

「格差と貧困」が広がり賃金が上がらない、年金切り下げや高齢者医療費の負担増など国の政治により市民生活はますます大変な現状で、更に物価高騰が追い打ちをかけている。毎年の繰越金10数億円を活用し、市民生活を更に支援し「防波堤」の役割を果たすことを求める。

**市長** 国や東京都の動向を見て、行き渡らないところを支援していく

### 2 公立保育園廃園の撤回を求める

廃園条例を廃止する条例は否決されたが、廃園のための「保育業務見直し方針」を撤回すべきである。議員の時に専決処分の違法性を厳しく指摘していた姿勢と大きく変わっている。廃園撤回の姿勢を貫くことを求める。

**市長** 廃園方針の撤回・見直しは考えていない。

### 3 庁舎等建設について

思い切ったコストダウンや広い広場の設置、免震構造で統一、万全な浸水対策など市民の声を反映した庁舎等の建設に、設計を見直し清掃関連施設撤去後の建設を求める。

**市長** 現設計で早期建設を目指す。5月に財政計画を示す。

## こがねい市民会議

白井市長の施政方針では、歴代市長の施政方針と比べて具体的政策の記述が少し多いと言える。

しかし、小金井市の最重要課題である財政の健全化、歳入構造の改革の論点が記述されていない。

小金井市政を樹木に例えると、立派な果実を得るためには、太い幹や根を作るための根本的な政策が必要である。

## 生活者ネットワーク

はけ(国分寺崖線)と野川の自然と文化は小金井の宝であるとの認識で、都に2本の優先整備路線の中止を求めるとしたことは高く評価する。生物多様性に配慮したまちづくりを望む。

当市で開催する全国自治体シンポジウムで、子どもオンブズパーソンの周知啓発とともに、子どもの権利条例をいかに、子どもの意見をまちづくりに反映する施策の推進を期待する。

## 緑・つながる小金井

緑豊かな生活環境として「野川公園・小金井公園」と書いているようだが、武蔵野公園も書くべき。「多様性・ジェンダー平等を大切に、理解の促進・推進」とあるが、差別の禁止や解消が必要だ。

気候危機対策は市長の熱意が感じられない。6月定例会前に示される新庁舎等建設事業を再開するための予算や財政見直しについて、説明責任を果たすことを求める。



原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和5年5月31日(水)開会予定です。